

事務事業名	広域入所(公立委託)事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	渡部 泰昌
	施策名	(26)子育て支援の充実	担当者名	桑山 真知子	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2251
	目的	対 子どもの保護者と産み育てたい 象 夫婦	意図	安心して子育てができる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 保育所総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 2 委託保育事業
	基本事業名	(078)子育てと仕事の両立支援	意図	仕事と子育てを両立できる。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市外の公立保育所への入所申し込みがあった場合、委託先市町村に受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、契約締結などを経て児童が入所。保育料は相手方市町村が徴収し、内閣総理大臣が定める基準により算出した費用の額より保護者負担額を除いた金額を施設型給付費として相手方市町村に支払う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 委託先の市町村に施設型給付費を支弁する。	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 委託先の市町村に施設型給付費を支弁する。			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 施設型給付費支払回数	回	1	1	1	1
	イ 受入照会件数	件	1	2	5	1
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	保育所入所基準に該当し、保護者の勤務地等の理由で雲南市内の保育所開所時間内で対応できない児童及び委託先市町村	ア 委託児童数	人	1	1	5	2
		イ 委託契約市町村数	市町村	1	1	4	1
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
保護者の職業の多様化による勤務時間の変化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。	ア 委託児童の入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
・支弁額5,061千円 出雲市:窪田保育所 1歳児1名×2月 229千円 松江市:しんじ幼稚園 1歳児1名×7月 774千円 米子市:崎津保育園 2歳児×1名×4月 284千円 飯南町:赤名保育所 来島保育所 1歳児×1名×12月 2,131千円 0歳児×1名×9月 1,643千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	54	2,137	5,061	5,145
	事業費計(A)	千円	54	2,137	5,061	5,145
	人員	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	90	90	90	
	人件費計(B)	千円	357	367	390	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	411	2,504	5,451	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
保護者の勤務状況の多様化、家族構成の変化により、市外の保育所への入所希望がある。但し、年度によりばらつきがある。平成27年度からの新制度により、受託自治体が入所児保護者から保育料(委託元単価)を徴収している。	国の定める保育単価に準じ、保育費用を支弁する。	特に無し

事務事業名	広域入所(公立委託)事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	--------------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現状以上にない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	児童福祉法に基づく措置制度のため	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	保育所の開所時間を延長する方法があるが、事業費削減にはならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	児童福祉法に基づく措置制度のため(法定受託)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内の居住者で保育に欠ける児童については、すべて対象となっているため偏っていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
			委託入所児童について、年々児童数が増加してきているので、待機児童が出ないように対応が必要となる。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
保護者の勤務先等の都合により市外へ入所しており、廃止・休止した場合市内保育所の開閉所時間、延長保育等の対策が必要となる。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			